

旧居留地の煉瓦造下水道が登録文化財に！

6月18日に文部科学省に国の文化審議委員会が答申した新たな登録有形文化財に、「旧居留地煉瓦造下水道」が選ばれました。文化員議会では、国内で初期に整備された西欧式の下水道として「歴史的価値が高く、再現が難しい」と評価しており、現役の下水道が文化財登録されるのは初めてのことです。明治の香りを伝える重要な資産です、今後も観光資源として大いに活用が期待されます。

